



堀 浩司(ほり ひろし)

経済ジャーナリスト、ファイナンシャルプランナー
わかりやすいお金や税金、身近な経済の話テーマにテレビ、ラジオに数多く出演。その他、新聞各紙で記事の執筆を担当。阪南大学でも講師を務めており、実務でつちかわれた分かりやすい経済評論は、辛口ながらソフトな語り口で好評。

私たちが一般投資家は、 時を味方にしてできる

ほんの少しだけ明るさの兆しが見えてきた日本経済。今回の景気変動、私は「情報不況」と呼んでいます。私達が情報に過敏に反応してしまった結果、不況の波が増幅して広がった感じ

です。景気は、究極的に人の心で決まります。昔のように飢饉や自然災害で不況が広がった世の中とは違います。日本は既に輸出で経済が成り立っているわけではありません。IMFのデータですが、2006年GDPに占める輸出の割合である輸出依存度14.9%。米国発の不況の波をも

ろにかぶるはずがないのです。

投資家の方の税務申告のお手伝いを30年やっていますと、皆さんが利益を出す時、損失を出す時はほとんど同じです。その中のお一人だけが、勝ち続けたり負け続けたりということとはほとんどありません。

今年5月のゴールデンウィーク、シンガポールに滞在し、現地で活躍されているプロの投資家の方々と食事をする機会がありました。皆さん、以前は外資系の金融機関でプロのトレーダーとして活躍されていた面々です。40代前に独立され、今は投資利

益に税金のかからないシンガポールを拠点にご自身の投資会社で投資運用をされておられます。どうして30代で金融機関のトレーダーをやめ独立されたのですかと質問をしますと、皆さん日々利益を出していくのが大変で、時間を味方にするために独立したというお話でした。

経済環境は良い時もあれば悪い時もあります。いつでも利益が出るわけでも、いつも損失を出すわけでもありません。大きな景気の波とともに、投資利益を出せる時と投資損失を被ってしまう時があるのです。そして、それぞれの時に投資家としてやらねばならないことがあります。実は景気が落ち込んでいる時は、じっとしている時ではなく、本来の意味の投資の時なのです。

投資商品が値下がりしている時に安く購入する。そして、景気が良くなると投資商品の価格が上がったらそこで投資利益であるキャピタルゲインを獲得する。一般の投資家の方々の多くは、投資商品が下がったら投資を手控えます。そして、投資商品の価格が上がったら我も我もと投資商品を購入するのです。これは「投資の基本、安く仕入れて高く売る」の逆の行動です。

我々、一般投資家は日々利益を出す必要はありません。時間に余裕があるのです。時間を味方に、景気の大きな波に乗って投資利益を獲得するのです。この大きな波に乗らなければ誰しも投資利益を手にはできません。

景気に少しだけ明るさの見えた今をあなたの投資のチャンスにしたいだけ明るさの見える



特別広告企画

**AERA
MONEY
GUIDE**
2009 SUMMER
ビジネスパーソンのための
金融商品選定ガイド